

“道守”みちもり“第1期生が誕生!!”

昨年度から開講した”道守“養成講座から、今年度は第一期の”道守“2名を含む85名の方々が新たに認定される予定です。



現場での点検実習

『観光ナガサキを支える”道守“養成ユニット』は、地域の道を守る人材を育てる事業として、長崎大学と長崎県等が連携して実施しています。

今年度実施した道守・特定道守などの4つのコースには、いずれも目標を大きく上回る方々が受講されました。認定後は”道守“等として地域の道路の長寿命化に貢献されます。

今年度からはより高度な知識・技術を要する道守・特定道守のコースを開設しました。その中でも最も多い時間数の講義・演習・実習を受講され、みごと試験に合格された2名の”道守“が誕生します。

今年度の受講生の「成果報告会」も3月11日に開催されました。平成22年度も引き続き4コースの講座を開設します。

地域の道路を守るためにお役に立ちたいとお考えの方、ぜひご応募ください。お待ちしております。



プロジェクト演習



コンクリート橋点検実習

道守の構成

認定者数(人)
H20年度 H21年度
31 44

道守補助員
(25人/125人)

近隣に住み、構造物の異常に気づける人

24 29

道守補
(10人/45人)

点検作業ができる人

— 10

特定道守
(4人/16人)

点検計画立案、健全度診断ができる人

— 2

道守
(1人/4人)

道路全体の維持管理ができる人
高度な技術開発ができる人

合計 55 85

(年間養成者数/計画養成者数)

道守のみなさんの活躍を期待しています。

